文部科学省認可通信教育

よしの川

第112号
2026年
10月号

放送大学
徳島学習センター

〒770-0855
徳島市新蔵町2－24
徳島大学 日亜会館3階
TEL (088)602-0151
FAX (088)602-0152
E-mail toku-sc@ouj.ac.jp

学習センターWebページ

目　　次

P.1　巻頭言　豊田　哲也　客員教授
P.2　客員教員より　阿部　曜子　客員教授
P.3　２学期学修スケジュール/事務室より
P.4　学位記授与式報告と卒業生紹介・卒業生からのメッセージ
P.5　入学者の集い報告/入学説明会・所長講演会
P.6　まなびの森講演会の様子と案内
P.7　同好会・同窓会から/第４回パソコン講習会開催/機関誌「よしの川」について
P.8　スケジュール（10月～３月）

センタースケジュール

システムWAKABA

巻頭言

音楽ホール計画と都市政策

客員教授　豊田　哲也

徳島の新しい音楽ホール計画には、30年以上に及ぶ長い歴史があります。徳島市文化センターの老朽化を背景に新ホール構想が始まり、西新町再開発地区への整備、市立文化センター跡地への変更など、計画は何度も姿を変えてきました。市長交代による計画の白紙化を経て、県市協調による整備へと転換し、2021年には石上純也氏らの提案が選ばれました。しかし、2023年の知事交代後に再び計画が見直され、現在も新ホールのあり方をめぐる議論が続いています。放送大学のゼミでは、この問題を題材に「文化政策と都市政策」について考えました。

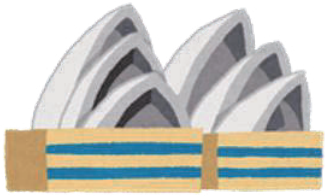
公共建築には、大きく二つの価値があります。一つは、利用者にとって使いやすく、機能的であること。もう一つは、建築そのものが優れたデザインや芸術性を持ち、都市の景観やイメージを形づくることです。

後者の代表例がシドニー・オペラハウスです。建設時には工期の遅れと大幅な費用超過を招き、政治問題にもなりました。しかし現在ではシドニーを象徴する景観となり、世界遺産にも登録されています。また、スペインのビルバオでは、フランク・ゲーリー設計のグッゲンハイム美術館が都市再生の象徴となりました。その一方で、建設費や維持管理費を抑え、市民が日常的に利用しやすい施設をつくるという選択もあります。公共建築では、こうした建築的価値と利用価値をどう両立させるかが問われます。

しかし、ホールを建てること自体が文化政策の目的ではありません。文化施設は、市民の文化活動を支え、芸術を育て、都市の魅力を高めるための「手段」です。立派なホールを造っても、そこで活動する人や文化が育たなければ、その目的を十分に果たしたとはいえません。

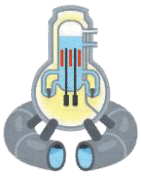
さらに徳島の事例から見えてくるのが、「政治の時間」と「都市づくりの時間」の違いです。首長の任期は4年で、選挙によって政策が転換されることは民主主義の重要な仕組みです。一方、文化施設や交通基盤などの整備には長い時間を要し、政策の継続性も必要です。首長が交代するたびに長期計画を見直すことは、民意を反映する民主主義の長所なのでしょうか。それとも、将来を見据えた地域づくりにとって課題なのでしょうか。

徳島の音楽ホール問題は、一つの建築計画の賛否を超えて、公共建築と地域政策、そして民主主義のあり方を考える格好のテーマであると言えるでしょう。



客員教員より

プロメテウスの火



客員教授　阿部　曜子

「第三次世界大戦で使われる武器についてはわからないが、第四次世界大戦で使われる武器が石と棍棒であることはわかります」(“I know not with what weapons World War III will be fought, but World War IV will be fought with sticks and stones.”)。この言葉の主はアルベルト・アインシュタイン。冷戦初期、米ソが核開発競争に突入しつつある頃のインタビューで「第二次世界大戦では核兵器が使われましたが、第三次世界大戦が起こったらどのような兵器が使われるでしょうか」と質問された時の返答であった。もし人類が第三次大戦で核兵器使用の全面戦争に入ると、地球は全滅状態となり、その次の大戦の武器は石と棍棒になるだろうという、ひねりの効いた警句である。

しかし当時の彼は、21世紀のAI搭載兵器の登場(火薬→核兵器に次ぐ第三の軍事革命の到来)を予測していたであろうか。今やAIの誘導システムによるドローンや弾頭ミサイルが人間の介入なしに正確に、効率よく街を破壊し人々の命を奪っていく。テクノロジーはここまで進歩してしまった。この先、人間による制御はどこまで可能なのだろうか。

アインシュタインは、原子爆弾の開発者の苦悩を描いた映画『オッペンハイマー』(2023)にも登場する。様々な観方があると思うが、アインシュタインも一線を越えた科学者の先人として描かれていたように感じた。戦後、自責に苦しむオッペンハイマーがこの先輩科学者に向かって次のように言う。「全世界を破壊する核の連鎖反応を開始させうると思った。」(We thought that we'd start a chain reaction that would destroy the entire world.)「我々がやったのだと思う。」(I believe we did.)(この時のアインシュタインの表情も印象的だった)と。なぜ“I”でなく、“we” なのか？特に最後の“we”は、アインシュタインを含む世界の科学者を、というよりひろく人類全体を指すものとして、監督クリストファー・ノーランは観る者に突き付けているような気がした。我々人類がパンドラの箱を開けてしまったのである。

映画のもとになったのは、ガイ・バードとマーティン・J・シャーウィンによるノンフィクション『オッペンハイマー』であるが、英語の原題が *American Prometheus: The Triumph and Tragedy of J. Robert Oppenheimer* であることに注目すべきであろう。「プロメテウス」(Prometheus)とは、人類に火を与えたことでゼウスに罰せられた神話に出てくる神であり、「プロメテウスの火」とは「幸福や便利さと同時に災いや不幸をもたらすもの」なのである。核の次にはAIが「プロメテウスの火」となりうることも心に刻んでおきたい。

客員教員のゼミをオンラインでVLCから配信しています。

VLC(バーチャルラーニングコモンズ)は、インターネット上で、学生同士や先生・スタッフが交流しながら、勉強したり、相談したり、情報交換したりできる「オンラインでの学びの場」です。次の客員5人のゼミはVLCを使ってオンライン配信しています。

・橋爪ゼミ【新社会におけるエレクトロニクス】
・阿部ゼミ【歴史の中の英文学】
・佐藤ゼミ【心の健康の回復と増進】
・豊田ゼミ【地域課題の分析アプローチ】
・四柳ゼミ【コンピュータを構成する半導体デバイスとその検査】

遠方の方でも、天候が悪い日でも、体調がすぐれなくても、ゼミが開催されていれば、どこからでも当日参加できます。
そのほかにも毎週日曜日11:05～11:50までは気軽に相談できる個別相談をVLCを使って実施しています。
場所や時間にとらわれず、大学とつながることができる“もう一つのキャンパス”、それがVLCです。



2026年度2学期学修スケジュール



２学期放送授業開始	10月１日（木）
２学期オンライン授業開始	10月５日（月）
面接・ライブWeb授業空席発表	10月16日（金）15時
事前申請期間	10月16日（金）15時～21日（水）13時10分
先着申請受付開始	10月22日（木）15時
通信指導提出期間（Web）	11月５日（木）10時～11月25日（水）17時
通信指導提出期間（郵送）	11月11日（水）～11月25日（水）必着
オンライン授業　最終レポート提出日	2027年１月上旬
単位認定試験期間	2027年１月17日（日）～１月25日（月）
成績発表　（予定日）	2027年２月12日（金）
次学期科目登録期間（学籍が続く方）	2027年２月13日（土）～２月28日（日）
次学期出願期間　（継続入学・再入学）	11月26日（木）～2027年３月15日（月）

学生証の交付、更新について

新入生の方、全科履修生で更新期間の過ぎた方は、新しい学生証が用意できております。**新入生の方は入学許可書**を、**在学生の方は古い学生証を持参**のうえ来所して交付を受けてください。
郵送、代理による交付についてはWebページをご覧下さい。

「Wi-Fi houdai」は学習センターで利用できるWi-Fiです。

学習センター内で使用できるWi-Fiとして「Wi-Fi houdai」を設置しております。利用にあたっては申請してIDとPWの発行を受けてください。申請前に「**情報セキュリティ研修**」を**受講**して**試験に合格**していただく必要がありますので、必ず受講、受験してください。（合格しないとシステム上申請はできません。）

視聴学習・図書室の利用について

視聴学習・図書室の利用や、本部に予約した図書の利用をされる場合は、開室時間内に、お越しください。来所の際には学生証をお預かりしております。室内では参考用の図書資料・印刷教材と、視聴用のタブレット端末が設置されており放送授業の視聴、システムWAKABAの閲覧もできます。

学生教育研究災害傷害保険（学研災）への加入について

学生教育研究災害傷害保険（学研災）は教育研究活動中（面接授業受講、大学行事への参加など）の不慮の災害事故補償のための制度です。万一の事故に備え、保険に加入されることをお勧めします。
面接授業の科目で、受講の際に加入が必須の場合もありますので、その際は受講の前日までにお手続きください。
郵送などでのお申し込みも可能です。学習センターにお問い合わせください。
保険料は100円で加入日の翌日午前0時から最長6年間保証の対象となります。ただし連続して在学中であることが必要です。保険料のお支払いは**キャッシュレス決済**にてお願いしています。

キャンパスメール・学習センターWebページを必ずご覧ください。

センターでのイベントや、利用にあたってのお知らせ、また、大学本部からのお知らせがキャンパスメールに届いています。必ず週に1度はご確認ください。
学習センターのWebページには「学生生活の栞」や「徳島学習センター　利用の手引き」のリンクバナーを張っております。ご不明な点がありましたら一度そちらをご確認ください。



2026年第1学期
ご卒業おめでとうございます。



９月２７日、２０２６年度第１学期卒業証書・学位記授与式を徳島学習センターで行いました。５名の卒業生の方に学位記が授与されました。学位を取得された皆様にセンター職員一同お慶びを申し上げます。





式辞
徳島学習センター
所長　橋爪　正樹



祝辞
徳島県教育委員会
生涯学習課長
宮内　計典　様



祝辞
徳島同窓会
会長　柳本　聖　様



謝辞
卒業生　代表
山中　敏江さん

卒業生紹介　順不同・敬称略

生活と福祉コース	2名
社会と産業コース	山中　敏江、他1名
人間と文化コース	1名



卒業生からのメッセージ

入学当初は不安でいっぱいでしたが、学びを通して、たくさんの良き出会いがあり、充実した学生生活が送れました。ありがとうございました。

（社会と産業　山中　敏江）

アカデミックガウン初登場

今年度、卒業・修了の式典で着用できる放送大学オリジナルアカデミックガウンが「放送大学チャレンジ募金」で製作されました。後輩の卒業生・修了生たちに引き継いで行きます。



２０２６年第２学期入学者の集いを開催しました。

「２０２６年度第２学期の入学者の集い」を、９月２７日（日）開催しました。１５名の新入生の方が参加されました。

前半のセレモニーの後、学習センターの利用及び修学上の留意事項と、徳島同窓会会長によるオリエンテーション、施設案内を行いました。





祝辞
徳島大学副学長
河野　文昭　様



歓迎の言葉
徳島同窓会　会長
柳本 聖　様

新しく学び始められる皆さんをサポートできるように職員一同、努めてまいります。ご不明な点がありましたら、来所、電話、メールなどでお問い合わせください。

放送大学入学説明会及び徳島学習センター所長講演会

徳島学習センターでは学生募集時期に合わせて入学説明会を開催しています。今年度、2026年10月入学生募集の説明会について、徳島学習センター以外に鳴門市、小松島市、阿南市でも開催しました。また、徳島学習センターで開催した説明会では、橋爪所長による講演会（放送大学の授業・ゼミ体験）を、在学生にもZoom配信するハイブリッド方式で実施しました。

6月28日（日）	鳴門市うずしお会館	3名
7月　4日（土）	小松島市総合福祉センター	2名
7月　5日（日）	阿南市ひまわり会館	1名
7月26日（日）	徳島学習センター	4名（在学生2名）
	「Society5.0を支えるエレクトロニクスが抱える課題と一解決法」	
8月　2日（日）	徳島学習センター	1名
	「Google NotebookLMに放送大学バーチャルラーニングキャンパスを語らせる」	



放送大学概要説明

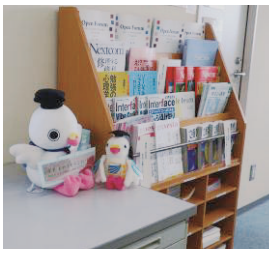


橋爪所長講演会

Campus Snap
キャンパス スナップ



式典の盛花



視聴学習・図書室の雑誌ラック



まなぴー　ラウンジにて



学位記授与式終了後
交流の輪AWAの様子

「まなびの森」講演会　　要申込

この講演会は、平成21年4月から徳島県立図書館との共催により、毎月1回土曜日に徳島県立図書館で開催している一般対象講演会（参加費無料）です。在学生の皆さんも是非ご参加ください。

■ 2026年度前期（7月～9月）の開催状況

○ 開催日時　7月18日（土）　13:00～15:00
○ 演　　題　大歩危小歩危の「発見」
○ 講　　師　佐那河内村学芸監・阿波学会会長　石尾　和仁
○ 参加人数　34名



○ 開催日時　8月8日（土）　13:00～15:00
○ 演　　題　眠りと健康
○ 講　　師　徳島文理大学薬学部　教授　四宮　一昭
○ 参加人数　41名



○ 開催日時　9月19日（土）　13:00～15:00
○ 演　　題　黎明期の徳島 ― 縄文・弥生時代のくらしと社会 ―
○ 講　　師　元徳島県立博物館長　湯浅　利彦
○ 参加人数　37名



■ 2026年度後期（10月～3月）の予定

申込方法はWeb申込に変更になりました。「まなびの森」講演会ちらしに記載の二次元コード、または、徳島学習センターWebページ（https://www.sc.ouj.ac.jp/center/tokushima/）からお申込ください。

月/日（曜）	内容・講師（※開催時間は全て13:00～15:00です）
10/17（土）	三好一族の興亡 徳島県立総合大学校　とくしま学博士　佐藤　　昭
11/21（土）	第二次世界大戦中における原爆製造と日本の科学者 ～仁科芳雄・荒川文策・湯川秀樹～ 徳島大学名誉教授・元放送大学徳島学習センター所長　中條　信義
12/19（土）	AIを暮らしの味方に ― 生成AIで変わる時間の使い方 ― 四国大学教授・徳島大学名誉教授　石田　基広
1/16（土）	1960年代の音楽と社会的影響力 徳島大学総合科学部元教授　田久保　浩
2/20（土）	〈分身〉とともに生きる ― 森鴎外「不思議な鏡」から ― 鳴門教育大学准教授　　構　　大樹
3/20（土）	歯周病を知る ― 予防と全身の病気との関係 ― 徳島大学歯学部長・歯周歯内治療学分野教授　湯本　浩通

同好会・同窓会から

同好会だより

徳島学習センターの学生が結成しているのは次の2つの同好会です。

●スマートライフ実践同好会 ･･･参加希望の方は事務所までご連絡ください。
●英語翻訳同好会 ･･･ただいま活動休止中です。

同窓会だより

こんにちは！徳島同窓会です。

放送大学徳島同窓会は会報「まゆやま」とホームページ「青藍」によって情報発信をしています。
会報「まゆやま」はそれまでの「放送大学徳島同窓会会報」に名称を付けてはという意見から、会員の皆さんに名称を募り令和4年度に創刊されました。同窓会発足時からの通刊では、今年度に第22号を発刊する予定となります。毎号センター所長の先生から頂いた原稿をはじめ、会員の皆様からの原稿、俳句や短歌の作品、近況報告、行事等の活動報告等、盛りだくさんになるよう心がけています。写真は創刊号ですが、現在題字は手書きになりました。今後は徳島学習センターホームページからもご覧いただけるようにしたいと考えております。
ホームページ「青藍」は2022年度に立ち上げられました。放送大学徳島同窓会、放送大学とは、に始まり、行事あれこれでは行事予定や行事報告をそしてお問い合わせ等、随時更新しています。「今月の徳島」では話題のスポットや地元の行事をほぼ毎月更新しています。最近では「マチ★アソビ」、「ブルーインパルス」、「給水スポット」「北斎・広重展」などを取り上げています。また、お問い合わせのページから各種申し込みを受け付けております。一度2次元コードから覗いてみてください。
他学習センター所属の方には、四国三郎吉野川の徳島学習センター機関紙「よしの川」、眉山の会報「まゆやま」、阿波藍のホームページ「青藍」で徳島名物3点セットとして紹介しています。
9月20日には県立防災センターで体験ツアーに参加しました。次号ではその様子もお伝えできると思います。



会報「まゆやま」創刊号

ホームページ「青藍」

2026年度第4回パソコン講習会開催のお知らせ

定員15人
要 申 込

□ 日　時　2月6日(土) 13:30～16:00
□ 会　場　徳島学習センター　講義室
□ 定　員　15名(先着順)
□ 参加費　無料(要申込)
□ 申込み　電話または右の申込フォームから〔申込受付　1月6日(水)～2月3日(水)〕
□ 内　容　① システムWAKABAとキャンパスメールの使い方
② 放送大学バーチャルラーニングコモンズ(VLC)の使い方
③ オンライン授業とライブWeb授業の受け方

お申込用二次元コード

機関紙「よしの川」の発行回数変更と郵送希望の申込について

機関誌「よしの川」は今号より年間2回の発行となります。郵送は、その学期に入学した入学生全員と在学生で郵送希望者に行っております。
新入生で次の号からの郵送を希望される方は必ず次の要領でお申し込みください。
ハガキ・メール・FAX・窓口のいずれかに必要事項(学生番号・氏名・郵便番号・住所・機関誌「よしの川」郵送希望)を記入の上、お申込みください。
※お電話での申し込みはご遠慮願います。
徳島学習センターウェブサイトに掲載していますし、センター内にも配架しますのでご活用ください。

一度申し込みいただいた方については、学籍が継続している間は郵送します。ただし、今後Web化への見直しによって郵送できなくなることもありますのでご了承ください。
【宛　先】　〒770-0855
徳島市新蔵町2丁目24番地
徳島大学日亜会館3階
放送大学徳島学習センター
【E-mail】　toku-sc@ouj.ac.jp
【FAX】　088－602－0152
※メール・FAXの件名に【よしの川郵送希望】と記入してください。

スケジュール（10月～3月）

閉所日　単位認定試験期間　視聴学習・図書室閉室　面 面接授業開講

通信指導提出期間　科目登録期間　ライブ ライブWeb授業開講

センタースケジュール

2026年10月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
27	28	29	30	1 26-2放送授業開始	2	3
4 第3回パソコン講習会	5 26-2オンライン授業開始	6	7	8	9	10
11	12 （スポーツの日）	13	14	15	16 面接授業空席発表	17 面 井上先生 まなびの森講演会
18 面 井上先生	19	20	21 面接授業事前申請受付〆切	22	23 面接授業先着受付開始	24 面 HoangNam先生 甲田先生
25 面 HoangNam先生 甲田先生	26	27	28	29	30	31 面 根津先生 ライブ 橋本(学)先生 橋本(親)先生

2026年11月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1 面 根津先生 ライブ Koinkar先生 卒研報告書提出期限	2	3 （文化の日）	4	5 通信指導提出開始	6	7 面 今井 先生 石田先生 ライブ 橋本(学)先生 橋本(親)先生
8 面 今井 先生 石田先生 ライブ Koinkar先生	9	10	11	12	13	14 面 南川先生 ライブ 橋本(学)先生 橋本(親)先生
15 面 南川先生 ライブ Koinkar先生	16	17	18	19	20	21 面 石尾先生 ライブ 橋本(学)先生 橋本(親)先生 まなびの森講演会
22 面 石尾先生	23 （勤労感謝の日）	24	25 26-2通信指導提出締切	26 27-1出願受付開始	27	28 面 寺西先生 佐藤(征)先生 ライブ Koinkar先生
29 面 寺西先生 佐藤(征)先生	30	1	2	3	4	5

2026年12月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
29	30	1 成績通知発表【司書教諭】	2	3	4	5 面 片山先生
6 面 片山先生	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19 面 米延先生 峪口先生 まなびの森講演会
20 面 米延先生 峪口先生	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2

2027年1月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
27	28	29	30	31	1 （元日）	2
3	4	5	6	7	8	9 面 川端先生 佐藤(健)先生
10 面 川端先生 佐藤(健)先生	11 （成人の日）	12	13	14	15	16 まなびの森講演会
17 26-2単位認定試験期間開始	18	19	20	21 26-2単位認定試験（郵送）(記述・併用式)提出締切	22	23
24	25 26-2単位認定試験期間Web締切	26	27	28	29	30 公開講演会
31						

2027年2月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
31	1	2	3	4	5	6 第4回パソコン講習会
7	8	9	10	11 （建国記念の日）	12	13 27-1科目登録開始
14	15 26-2成績発表	16	17	18	19	20 まなびの森講演会
21	22	23 （天皇誕生日）	24	25	26	27
28 27-1科目登録締切	1	2	3	4	5	6

2027年3月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
28	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15 27-1出願締切	16	17	18	19	20 まなびの森講演会
21 （春分の日）	22 （振替休日）	23 臨時閉所	24 視聴学習・図書室閉室(～31日)	25	26	27
28 26-2学位記授与式 27-1入学者の集い	29	30	31	1	2	3

２０２７年４月上旬

1日(木)2027年１学期放送授業開始
5日(月)2027年１学期オンライン授業開始
16日(金)2027年１学期面接授業空席発表

2027年1学期出願期間は
11月26日(木)～2027年3月15日(月)